



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

President : Yasuo Ueno Address: 〒659-0074 2-8-304 Hirata-cho, Ashiya, Japan
Mail : uenoashiya@kbd.biglobe.ne.jp
URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

- 国際協会会長 Ulrik Lauridesen(デンマーク)
“Let Your Light Shine”「輝かそう、あなたの光を」
- アジア太平洋地域会長 利根川恵子(東日本)
“Be the light for change”「変革のための光となろう」
- 西日本区理事 深谷 聡 (名古屋クラブ)
“Let's illuminate the light of hope for future”
「未来に灯そう(ともそう)希望の光り」
- 六甲部部長 井出 浩 (神戸クラブ)
「YMCAとのさらなる協働を目指して」
- 芦屋クラブ会長 上野恭男
「楽しいクラブライフを！」

今月の聖句

命のことで何を食べようか、体のことで何を着ようかと思ひ悩むな。命は食べ物よりも大切であり、体は衣服よりも大切だ。
＜ルカ福音書 12:22～23＞

2月第1例会

と き: 2024年2月21日(水) 19:00～21:00
と ころ: ホテル竹園芦屋
司 会: 福原吉孝ワイズ

- | | |
|---------------|-----------|
| 1. 開会点鐘 | 上野恭男会長 |
| 2. クラブソング斉唱 | 一同 |
| 3. 聖句朗読 | 羽太英樹ワイズ |
| 4. ゲスト・ビジター紹介 | 福原吉孝ワイズ |
| 5. 食前感謝 | 島田 恒ワイズ |
| 6. 会食・懇談 | |
| 7. ゲストスピーチ | 稲畑廣太郎館長 |
| 「故郷を離れて」 | (虚子記念文学館) |
| 8. 第2例会議事録の承認 | 上野恭男会長 |
| 9. 事業委員の報告 | 各事業委員 |
| 10. YMCA報告 | 横山徹太郎担当主事 |
| 11. ニコニコ献金報告 | 坂東幸子ワイズ |
| 12. 誕生日祝い | 上野恭男会長 |
| 坂東幸子ワイズ | |
| 13. 閉会点鐘 | 上野恭男会長 |

会 長 上野恭男
直前会長 大岩雅典
副 会 長 山口光一・福原吉孝
書 記 柏原佳子
会 計 桑野友子
監 事 島田 恒
担当主事 横山徹太郎
六甲部国際・交流主査 柏原佳子

2

Feb., 2024
320号

2月強調月間 TOF

桑野友子

ご存じのようにワイズメンズクラブの年度は7月から翌年6月まで、その月ごとにワイズ独特の強調月間が決められています。年度により多少の変更がありますが、7月キック・オフ、2月TOF・FF、6月の評価と引継ぎは変わりません。

2月TOFは‘Time of Fast’断食の時、今期の川口主任は「世界で飢餓に苦しむ人を想い、TOF 献金を！」をモットーに上げています。歴代の主任には具体的に「飢餓に苦しむ人々の為に、例会の食事を抜き、その分の金額を支援しましょう」を主題に上げておられる方もいます。

芦屋クラブも例年2月はサンドイッチと飲み物の TOF 例会を開催してきました。今年は待望のゲストスピーカーを迎え、食事こそ通常の竹園ディナーですが、ワイズの TOF 精神を忘れないようにしましょう。

さて、ワイズには TOF 献金の他にいろいろ独特の献金があります。西日本区の今年の事業目標は YMCA サービス・ユース献金、CS

(地域奉仕活動) 献金、FF (Family Fast) 献金、BF (Building Fellowship) 献金、RBM (ロールバックマラリア) 等々、金額を設定してロースターに明記しています。

2月・3月これらの献金を西日本区に送る次期になりました。具体的な金額は例年通り封筒にプリントして皆様にお渡しします。今年も皆様の御協力宜しく願います。



1月例会会集計

第1例会出席	例会出席率	BF切手
メンバー 15名	出席者 15名	累計 gm
メネット 名	メイクアップ 名	
コメット	合計 15名	
ビジター 10名	在籍者 18名	ニコニコ
ゲスト 名	(内広義会員1名)	25,660円
合計 25名	出席率 88.24%	累計 101,640円

1月第1例会報告

日時：1月17日(水) 19:00～21:00

場所：ホテル竹園芦屋 (敬称略)

参加者：上野恭男会長・大岩雅典・柏原佳子・桑野友子・島田 恒・堤 清・中島かおり・田辺征一・羽太英樹・濱瀬真知子・坂東幸子・福原吉孝・船橋知子・山口光一(各ワイズ)、横山徹太郎担当主事

ビジター：美崎 晋ワイズ(神戸クラブ)＝ゲストスピーカー
井出浩六甲部部长・井出富美子・長内建佑・森愛子(各ワイズ)&長内靖子・河合純子・京極美恵子・佃治子・山本洋子(各特別メネット)

1月17日(水)は、29年前の阪神・淡路震災の日です。又、元旦に能登半島を襲った痛ましい出来事を覚えて、芦屋クラブ1月例会はスタート致しました。

冒頭の上野会長の挨拶の中で、再入会の田辺征一氏のご紹介があり開会点鐘が響きました。六甲部部长井出浩ワイズの立ち合いの元、芦屋クラブのメンバーとしてお仲間になられました。



ゲストスピーカーに美咲晋ワイズをお迎えし、整形外科医としてのお立場から「健康寿命・ロコモティブシンドローム」と題して講演を頂きました。なんと神戸クラブから10名ものサポーターに参加いただき美咲ワイズのお人柄が伺われました。健康寿命を75才として平均寿命86才の10年余りの間を、如何に運動機能を鍛えて生きるかということは、私達の世代にとって切実な課題です。「骨・関節・筋肉・神経などの運動器の障害のために、移動機能の低下をきたしている状態をロコモ(略式:運動器症候群)と言ひ、運動器とは、①身体を支える骨、②圧迫や衝撃を吸収する関節軟骨や椎間板、③身体を動かしたり制動する筋肉や神経系の、3つで構成されており人の健康を支えている根幹です。

軽妙な語り口的美崎ワイズ



美崎ワイズの応援団

ながら実際に片足で立つ、歩幅を大きく歩くことで股関節を鍛える、スクワットの正しい姿勢など、ご自身の身体で示しながら説明されます。聴く側も真剣です。白熱したエネルギーが会場を包みます。実際に椅子からさっと立てるかどうかと促され、みなさま元気よく立たれます。嬉しかったのは、最近腰と脚を痛めておられ

た隣席のHワイズがスクッと姿勢良く立たれたことです！ 質疑応答が終わった後も余韻の残る中、各自がご自分の身体を倒したり動かしたりと、確かに実年齢よりも遙かに若々しいワイズメン・メネットです♪立派な資料も準備いただきせっかくですので、ロコモ度テストを試して見ましょう！急遽設置した能登半島震災支援募金箱には、善意の気持ちの58,200円が集められ担当主事を通してYMCAに献金することが出来ました。本日



例会参加が出来ないメンバーが、募金の為にご足労くださり、既に同盟に送られた方、教会での献金も重なる中、小さな街頭募金に賛同頂けた事を嬉しく思います。芦屋クラブは今年18名で出発です。36才から89才の素晴らしい構成です。出来る事を惜しまず頑張ることでロコモティブシンドロームから脱出いたしましょう！ポジティブな感動の中で閉会点鐘が打たれました。

柏原佳子

1月からお仲間入りー田辺征一です！

この度、上野恭男ワイズと柏原佳子ワイズのお誘いを受けて芦屋クラブに入会いたしました。

私とワイズメンズクラブの出会いには、1995年秋、鹿児島に赴任したことから始まります。鹿児島加治屋町教会には鹿児島ワイズメンズクラブの会員が5名ほどおられ、ワイズメンズ活動を紹介されました。全く新しい土地で、知っている人もいなかったもので、これ幸いと翌年には入会しました。和やかな雰囲気、クラブの結束は固く、西日本区大会の開催や鹿児島YMCAの設立など、充実したワイズダム人生に触れることができました。

2013年、長女の要請を受けて神戸に居を移しましたが、その後3年間単身赴任で鹿児島に戻り、やっと神戸に落ち着きました。神戸は私にとっては全く新しい土地です。京都で生



昨年11月のスピーチ

を受け、鳥取、鹿児島、神戸と居を移してきました。その土地への愛着はどれだけ人と人との交流が豊かで有意義であったかだと思っています。上の3つの街に加えて神戸が第4のふるさとになることを望んでいます。生まれたのは真珠湾攻撃の1ヶ月後、私の名“征一”は戦争一色の中、父が“一番の征服者”を願って付けたのでしょうか。しかし、根はいたって穏やかで温厚な性格???ですので、皆様、お付き合いのほどよろしく願いいたします。私も後期高齢者ですが、芦屋クラブには見習うべき頼もしい先輩方が多くおられます。“楽しくなければワイズじゃない”をモットーに皆様方と楽しいワイズダム人生を歩みたいと思っています。

どうぞよろしく願いいたします。

田辺征一

神戸 YMCA 新春 YYY フォーラム報告

1月20日に行われたフォーラムに参加してきました。テーマは「YMCA 未来のために」が掲げられ、六甲部ワイサ主査小野さんの挨拶（私の研究対象ドラッカーの言葉を引用されました）、中道理事長のお祈り、西日本区ワイサ主査吉田さん挨拶、六甲部井出部長のフォーラムに託す思いが語られました。



続いて3つのテーマ「ムービーを作ろう」「震災を思い、今ならどんな炊き出しをしますか」「10年後のYMCAへ手紙を書こう」に分かれ、長時間の分団討議が行われました。

私は最後のテーマに参加して、熱心な参加者の渦に入ってきました。「ミッションを掲げて地域により深く活動展開しているYMCA」がみんなの意見の大勢であったと思います。

最後に一堂に参集して総合報告で締めくくられました。参加者50名くらい、若いYMCA職員も多く活気が出ていましたがワイズからの参加が少なかったことが心残りでした。島田 恒

みどり通信 III

いつも芦屋みどり福祉会にご支援いただきありがとうございます。芦屋みどり作業所には就労継続支援事業B型という福祉就労の場と自立訓練（生活訓練）という訓練の場があります。今日は自立するため、生活をより豊かにするために訓練しているみんなの様子をご紹介します。自立訓練は食事や家事等の日常生活能力を向上するための支援や相談支援を行います。

プログラムでは調理、カメラをもって近隣散策、買い物、洗濯、図書館で本を読む、パソコンやタブレットを使う、手紙を書く、ドリル、絵を描く、歌を歌う等、色々なことをしています。



たくさんのお楽しみや趣味を見つけてほしい。やったらできたという体験。美味しいものをつくる楽しみ、みんなと協力、助け合う喜び。みんなの笑顔が見たいと支援員たちはみんなの意見を聞きながら企画し準備をしています。



障害を持つ前一人暮らしをしていたNさんは、包丁を持つと自然に手が動いて野菜をきれいに切れました。みんなに「すごい！」と言われ笑顔になりました。売店でおつりの計算

ができないI君は、計算機なら僕も使えるかもと練習しています。2年の訓練期限がありもうすぐ3月、卒業が近づいています。写真上：近隣散策 下：みんなで作った昼食（たこ飯、豚のしょうが焼き） 大澤昌子

【 2つの小窓 】

I ◆【こんな出会いがありました。】先月始め。私を含め、曾孫の居る85歳になった幼なじみ（戦後・小学校での同級生）達と3人で15年ぶりに楽しいランチタイムを持ちました。お互いにこの機会を逃したらもう2度と逢えないかと案じつつ、1人はわざわざ東京からの参加だった。◆【3年前に引退した開業医 H 君の話】だが彼の同僚、C 氏夫妻が今流行？のホテル並の老人ホームに入居したが数カ月経ったある日《急遽そのホームを解約・退居した。》との知らせが……。理由はあらゆるルールが厳しく《ダイニングルームでの食事態度。★ドレスコード。ノータイはOKなるも、》いわゆる最低限のマナー・（部屋着でない寝起きしているパジャマ姿）・一般的食事作法等にクレームが付き。遂にC氏、自ら退居申出に至ったらしい。この入居者 C 氏は恐らく何でも《廻りを私物化》してしまう人かもしれません。会員制のゴルフ場でもクラブハウス内で自分の家と勘違いしているかの様な傲慢な人が時々居るとクラブ支配人から耳にしたことが…。

◆私は最近【床に食べこぼし】が目立って来た様で、日頃から家族から注意され、神経を使っている。特に《食べながらお喋りをするからか。》又《入れ歯の不都合》《口廻りの筋肉の退化》など《老年期独特のせい》かも……。◆その日、【ジジ3人組】はランチ後に皆でテーブル上と皿まわり及び足元をチェックする事に。何と【お見事！3人共アウト！】だった。皆で情けないが、不始末を自覚し、大笑いだった。イタリア、スペインなどの明るく賑やかな食事風景が何となく羨ましい。近づくこの先【どうする！ジジたち。】



II ◆【クマとの共生】このところ近くの市立図書館に行く機会が多い。そして貸出しコーナーでは圧倒的に【クマの本】が貸し出されているのが目立つ。◆最近のニュースから～各地で相次ぐ熊の被害、【長野県軽井沢町】では人里に近づく【クマ】達を山に追い返す【ベアドッグ】と呼ばれる対策犬を全国に先駆け導入。クマとの共存を目指す取り組みが実を結び、人の生活域での人身被害が無くなるなど効果が表れていると言う。◆午前4時すぎ…真っ暗な林道でNPO法人の人が電波受信機でクマの位置を探る。場所を特定する



と【ベアドッグの係員】と共にその辺りを吠えまくり、その日は2頭のクマを追い返した。との事【熊よ帰れ！吠える共生作戦】も存在していたのだ。捕獲殺生処分されずに、あ～良かった！。◆我が家近くの【バス停のベンチ廻り】。何と昨日の風雨で落下した大小の立派な【熊の大好物・ドングリ】が辺り一面に…。ふと思う。【飢えた里山のクマ親子たち】の姿も目に浮ぶ。 篠坂幸彦

虚子記念文学館 理事長・館長稲畑廣太郎氏紹介
 明治、昭和期の俳人、高浜虚子を記念する虚子記念文学館は、2000年3月に芦屋市平田町に開設されました。設立以来理事長を務め、虚子記念文学館館長を兼任してきた稲畑汀子氏が2022年2月に亡くなり、同年3月に稲畑廣太郎氏が理事長・館長に就任されました。俳誌「ホトトギス」主宰。句集に『玉箒』『半分』『八分の六』、著書に『曾祖父虚子の一句』

『 聖句 読み説き 』

ユダヤ人以外の異邦人にキリスト・イエスの教えを伝え、各地に教会を建てたパウロは言っている。「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし成長させてくださったのは神です。」農作物は農夫の手により実りを得るが、その裏には神の手が必須だと、パウロは言うのである。ウクライナ・ロシアの戦争が長引く中、世界は食糧危機をも経験している。キリスト・イエスは言われる。「あなたがたも、何をたべようか、何を飲もうかと考えてはならない・・・あなたがたの父は、これらのものが必要なことをご存じである・・・ただ、神の国を求めなさい。」今、わたしたちに求められているものは「神の国」と「キリストにある平和」である。

♪ キリストの平和が／わたしたちの心の／
 すみずみまで／ゆきわたりますように ♪

羽太 英樹

1月第2例会議事・報告

1月第2例会は、風邪で欠席者が多く急遽中止、緊急議事のみメールでの話し合いのうえ、下記を決定した

決定事項・報告

- プリテン編集会議： メールにて依頼 桑野編集長
- 第1例会予定
 - ・3月以降スピーカー未定
- 12月会計報告： メールにて報告 桑野会計
- 2月7日(水)留学生交流会 18:00~20:00
 お弁当は、昨年同様大岩雅典ワイズ@800円
 お楽しみお菓子セットは濱瀬ワイズ@550円
 参加費@1,500円
 参加予定： 留学生13名+引率1名（名簿は別紙）
 クラブより14名+大野勉ワイズ
- 次期クラブ役員
 会長： 柏原佳子ワイズ
 EMC 主査： 島田 恒ワイズ
 他の役員は2月7日留学生交流会終了後に決定
- 1/22日(月)第1回西日本区準備実行委員会開催
 参加者： 上野会長、柏原書記

書記 柏原佳子

編集後記： ◆能登地震から1ヶ月、救出や物資の補給等、地形の関係で多くの困難を伴っています。私達は新聞やTVの報道でやきもきするだけ、現地での近隣の助け合いやボランティアの働きにホッとすることもありますが・・・◆2月は留学生交流会、当初は台湾・韓国・中国・香港、今年は殆どがミャンマーから、国際情勢の変化が垣間見えます。楽しい会になりますように。 桑野

年末恒例！ 信州志賀高原スキーキャンプ

2023年12月26日～30日、年末恒例の、信州志賀高原スキーキャンプを実施しました。小学生・中高生とも、スキーを通して感じたことは、滑る楽しさだけでは収まりきれない大きな



ものでした。生まれて初めてスキーをする子どもたちは見様見真似で板を履き、ストックを使って一生懸命漕ぎ出します。初めてのリフトにも乗りました！滑れることに、止まったことに大喜び！

にこっと溢れてくる笑顔が隠しきれません。経験者の子どもたちはほとんど滑ります！とにかく滑って、上手になりたい！転んでも自分で立ち上がり、ちょっと遅れても全力でついていきます。中高生キャンパーたちも、1本1本の滑りから、キャンパーたちのスキーが上手になりたいという気合いが伝わってきました。みんな！春のスキーキャンプも待っているよ！

神鍋ウインターキャンプ

2024年1月4日～6日、神鍋ウインターキャンプを実施しました。年中児から小学4年生が対象です。昼食をしっかり食べて、外へ Let's go!! と、その前に！リーダーから災害についての話がありました。



1月1日に能登半島を震源に地震があり、関西にいた子どもたちも地震を感じて、ここでもし起こったらと不安な子もいました。「もし、ここで災害が起こったら？」まずは、自分の身は自分で守ろう、と。キャンプでも、自分のことは自分でできるようになってほしいと思っています。それができるようになって初めて、他の人のために何かできないかを考えたり、動くことができます。そのために、まずは自分のことができるようになり、話がありました。そして、弱きものを大切にすることも大事だと聞きました。できることはそれぞれに違います。できる人が、できることを。みんなの中に強く優しい気持ちが続いてほしいと思います。

2023年度 神戸 YMCA 第二回 YYY フォーラム

2024年1月20日(土)、YYY フォーラム「YMCAの未来のために」が開催されました。



ワイズメンズクラブ・常議員・メンバー・職員・ユースなど49名の方々にご参加いただきました。様々な

年代や立場の方々が交流し、YMCAの未来に向けて、ムービー・支計画・手紙という形で記録を残しました。これからにつながる希望ある語り合いの時となりました。

担当主事 横山徹太郎